

# 全 仏

NO. 231

9 / 52



## 仏跡シリーズ ② <コレシュリの石仏>

コレシュリは伝説的な山で、山頂に湖があり、仏陀や  
ジャイナ教の教祖マハビーラらの、この山でのエピソードがある。今はヒンズー教徒の聖地となっている。ブダ  
ガヤの郊外にある。(カメラ・松本栄一)

昭和52年9月1日

全日本仏  
教徒会議

# 埼玉大会あと一か月

記念行事の  
ご案内

①名僧墨蹟展  
大会に先だつて九  
月十五日より二十日までの六日間、大宮  
・高島屋において開催される。各宗派の  
管長をはじめ、宗務総長、長老等に揮毫  
たまわりました。ぜひとも足をお運び下  
さい。

②仏教幼児画展 十月五日より大会日  
の七日まで埼玉会館にて、かわいい子供  
たちの絵を展示いたします。

③文書伝道資料展 宗派、県仏、団体  
や地域仏教会、各寺院において発行する  
会報、寺報、ハガキ伝道などの文書伝道  
の力作を、大会当日の十月七日に埼玉会  
館にて展示いたします。布教の一助とし  
ていただきたいと思ひます。

## 都道府県仏代表 者会議のご案内

大会の前日に全国都道府県仏代表者会  
議を左記により開催いたします。

日時 十月六日 午後一時より  
会場 浦和市 埼玉県仏教会館  
議題 都道府県単位における仏教会の  
活動をより伸展するための方策  
について

参加 都道府県仏教会代表者 二名  
費用 一名五千元(宿泊費など)

# 16日に全体会議

## 大会監事などもきまる

第二十五回全日本仏教徒会議埼玉大会は、十月七日午前九時半より、埼玉県浦和市の埼玉会館において開催する。

あとわずか一カ月余となり、地元の埼玉県仏教会では、実行委員会を中心に全県下寺院が鋭意努力している。特に実行委員会では、大会の成功を目指して各部門の担当役員がそれぞれに最終準備にと

りかかり、会台も事務局会議、実行委員会、参議参与会、部会、全仏と打合せなど数度となく開かれている。全日仏事務局も組織部が中心となつて準備し、埼玉県仏と連絡を密にしながら順調に準備をすすめ、大会監事も決定したので、いよいよ埼玉県仏、全日仏、大会監事などの全体会議が開催されることになつている。(全体会議は左記の日時に開催の予定です)

九月十六日 午前十時 於・埼玉会館  
十月 一日 午後二時 於・埼玉会館  
第25回埼玉大会日程

8時 受付開始  
9時30分 開会式  
10時30分 記念講演—斎藤栄三郎先生  
11時30分 総会  
12時 休憩昼食  
13時 各部会  
15時 全体会議  
16時 閉会式



(国電浦和駅西口・徒歩五分)

## 第25回 全日本仏教徒会議埼玉大会

# 仏教を現代に生かそう

昭和52年10月7日 浦和市埼玉会館

西に、秩父の山々をのぞむ  
関東の沃野埼玉県に、全国  
の仏教徒が参集されんこと  
を……

財団法人 埼玉県仏教会  
埼玉大会実行委員会

浦和市高砂四の十三の十八  
埼玉会館内  
〒363 〇四八八(六)二一三八

# 総務委員会開く WFBD大会 の細目討議

第四回総務委員会（白川委員長）は七月二十九日午後一時半より、全日仏会議室において、次の議題にそって討議された。

◎大会日程について事務局より説明のあと、総持寺で昼食会を催してもよい、起草委員会はソートビルあたりが好ましい、歓迎大会の会場は早急に決定してほしい、十月一日は日曜日で会場予約不可能の場合は九月三十日ではどうか、などの意見がだされた。

◎ポスター、勸募箱、感謝状などについては、事務局報告で了承された。すでに勸募箱は完成している。また東原画伯の仏画展開催については、全日仏協賛、大会記念ということで了承された。

◎WFBD日本大会事務局について、全日仏一般事務と重複して仕事に従事している現状を早急に改善して、大会事務局を発足させるべきであるとの意見がだされた。

◎規定については、早急に制定すべきであるが、全日仏理事会に一任したいとの意見が強く出された。また新宗教の受け入れについても統一意見は困難であるので理事会一任とした。

## 関西事務局と連絡会

第十二回WFBD日本大会は東京、京都を中心として開催されるため、全日仏関

西事務局との打ち合わせも数を重ねていかなければならない。六月二十三日にその打ち合わせ連絡会が、京都・和順会館で十時より開かれた。

会議は安藤全日仏次長と藤田関西事務局長の挨拶につづいて、鎌田部長より大会へむけての経過報告、市橋部長より勸募報告があった。藤田師を座長に選出し次の事項について話し合った。

◎日程について事務局案を説明したところ、関西側としては「なるべくタイトな日程はさげる」、「東京で会議中心とし、関西は参拝中心でどうか」、「関西では会議の報告をうける程度」などの意見が出された。

◎宿泊については「東京との関連業者の利用が好ましい」。寺院参拝便宜供与については「関西事務局として実施」。サヨナラパーティ等の会場は「京都国際会議場がよい」などの意見がだされた。

## 勸募（第三部門）委員会

関西を中心とする勸募委員会第三部門（小林委員長）は、六月二十三日午後一時より京都・和順会館第一会議室において開かれ、小林委員長を座長に指名して協議に入った。市橋部長より事務局の経過報告と勸募第一・二合同委員会了承事項を説明、これにもつき東西の区分、特別・一般寺院勸募額東西配分、勸募方

法などを協議し、ほぼ事務局案が了承された。次回九月九日の予定。

## 仏教英語研究会

### 身延山で夏期合宿

第十二回世界仏教徒会議日本大会の記念事業の一環として行なわれている仏教英語研究会の夏期セミナーが、去る七月二十日より二十六日まで、身延山久遠寺の御好意により身延山研修道場を会場に御提供いただき開催された。

仏教英語研究会は、去る五月より毎月四回、新宿の常円寺を会場として開催されているが、七月から夏期休暇に入るため集中講義を行なうことになったものである。今回のセミナーには二十八名の学生が参加、講師には松濤弘道、花山勝友

田村完誓、小笠原隆元、佐伯真光の各師が交替であたり、また他に外人講師二名を招き、厳しい暑さの中で熱心に研修が行なわれた。

まず、二十日の十二時三十分集合、開会式、オリエンテーションの後、フリーキングを行ない一日目は終了。二日目からは午前、午後各三時間づつ講義夜はフリーキングをし、その他、各班ごとに英語の壁新聞を作製することとした。また、これらの研修のほかに、期間中二回、久遠寺の朝の勤行に随喜しさらにハイキングをかねて奥の院を参拝した。二十六日正午より閉会式を行ない参加者全員で英語、パリー語で三遍依文を唱和し、散会した。  
なお、この集中講義は来春、夏にも開催の予定である。

# 21世紀における仏陀のメッセージ

## 第12回世界仏教徒会議

# 日本大会

- とき／昭和53年10月1日〜6日
- ところ／東京・京都
- 主催／財団法人全日本仏教会・第12回世界仏教徒会議日本大会事務局

# 子供たちの夏休み こうして生かした

## 各宗の行事



写真(上)は日蓮宗本遠寺の本堂での  
仏前作法(下)は曹洞宗東光寺の写経

テレビや狭い空間で遊ぶ現代の子供にとって、みずみずしい自然に触れることは豊かな人間性を育てるのに非常なプラスとなる。特に夏休みを利用して、仏さまの教えをもとにした合宿が、各宗派・本山・仏青などで組まれているので、その中からいくつか紹介したい。これら合宿では、異なった環境、新しい友達との交流を通して、お寺という場で仏教の創作的学習と、集団訓練を学ばせるものである。

## 少年少女の修養道場

日蓮宗

夏休みは子供たちにとってたいせつな生活の場です。この子供たちを対象に、自然の中で仏さまの教えをもとにした規

律ある生活を学んでもらうため、各地の日蓮宗寺院で「少年少女の修養道場」が開設されている。

は八月二〜五日の三泊四日、山梨県身延町の本遠寺を会場に、小学生七十名、中学生十五名が参加して開設された。

会場の本遠寺は広々とした境内と、江戸初期建立の本堂という自然そのもので自然に恵まれない都会の子供たちはのびのびと過ごすには最適のところである。この環境の中で、家庭や学校ではできない仏教的オープン教育をやるとういうのがネライである。それだけにスタッフは日青会員、OB会員のほかに、小学校教員、仏教系大学生、体育大学生、栄養士などのお手伝いを得て指導に当り、朝六時の起床から夜の不寝番まで汗また汗……である。

カリキュラムは非常に厳しいもので、唱題行、おつとめ 釈迦伝、祖伝、仏前作法、礼儀作法、写経、法話、身延山登詣などの修養にはげむほか、楽しみとしてのかがり火の集い、ゲーム大会、新聞作り、映画、山登りなど盛りだくさん。この中からいくつかひろってみよう。

(唱題行)子供たちにとって最もきびしい行で、毎夜一本のローソクのなかで、正座でお題目を唱える。姿勢が悪いと青竹でぶたれるので、子供たちはエンマ棒と名付けた。

(写経)身も心も浄心にして一枚の紙にむかう。正座の足が痛いのか途中からはり字が乱れるのはしかたない……。

(かがり火の集い)本堂から代表によってはこばれた一本のローソクの灯は、輪になった一人一人のローソクに点火され大きな光の輪になる。かがり火に点火され

これは全国日蓮宗青年会に加盟する単位日青(宗務所単位の日蓮宗青年会)が中心となって開催する所が多く、宗務院や宗務所等が後援している。また一寺院で開催しているところもかなりあり、日蓮宗の青少年教化に大きなウエートをしめている。今ここでは東京東部日蓮宗青年会に道場の模様を語ってもらおう。

東京東部日青の主催する「修養道場」は本年第六回目を迎える。毎年七月と八月のお盆のあいだ頃に開設するが、本年

ライマックス。ダンス、歌、花火はすばらしい夏休みのプレゼントとなる。  
(山のぼり) 日蓮宗総本山の身延山参拝のあと奥之院まで三時間の山のぼりは子供同士の助け合いがみられる。  
このように子供たちを自然の中でのびのびと、そしてきびしく指導し、一つの小さい経験をつまめます。(事務局責)

# 児童念仏奉仕団

浄土真宗本願寺派

いタスキを肩からかけ、胸のワッペンが少し違うだけです。本山で新鷲さまのみ教えを聞きながら、いろいろ奉仕していくなかで、身も心も、立派に仏の子どもになろうと勉強するつどいです。  
Aコース・Bコースと、二つのコースにわかれて、約九百名の子供たちが参加

蝉しぐれがにぎやかに聞こえてくると子供たちにとっては、待ちに待った夏休みです。  
西本願寺白洲にも、子供たちの姿が目だつようになりました。今年も恒例の児童念仏奉仕団が始まります。

七月二十五日より、八月二十七日までのあいだ、全国より仏の子どもたちの集合です。大人たちのように、白

します。地域は、遠く熊本をはじめ十八教区より申し込みがありました。毎年参加している常連組もかなりの人数です。  
両コースとも参加資格は、小学校五年生・中学三年生まで。Aコースの定員は二百名で、午前九時半開始、翌日正午解散の一泊三日。主に奉仕活動が中心で、夜の自主活動プログラムに見られるように引卒者の指導が中心となつて行なわれていくところに特長があります。Bコースは定員百名で、午後一時開始、翌々日の正午解散の二泊三日です。主に研修が中心となつた奉仕団で、団体生活の規律や意義を学び、みんな仏の子であること

を自覚させていくところに特長があり、生活指導までが竜谷大、京都女子大の宗教文部部の学生たちの手伝いを得て、担当者たちが行っていきます。特にBコースでは、日頃から日校(子ども会)活動

## 緑蔭に禅のつどい

曹洞宗

曹洞宗における青少年向けの教化活動として、近年では各地に「禅の集い」が開催されているが、新潟県第四宗務所管内でも、届出のあるもので五会場、古い所ではすでに十四年目となっている。届出のない会場を含めると、まだ各地で類似した活動が多数実行に移されていると思われるが、今ここに紹介する東光寺会場は、ようやく二年目をむかえたばかりで、最も新しく開催された会場の一つ

をされている所が中心となるようにプログラムが生まれ、班活動で地域交流を図るとともに、キャンブファイヤー等のレクレーション的要素も含んでいます。  
児童念仏奉仕団は、すでに十年以上の歴史をもっています。しかし、昭和四十八年以前は参拝部の業務でしたが、児童教化の一環であるという観点より、四十八年度には婦人青少年部(現組織部)との共管になりました。その後参加者の増

加で、五十一年度より、参拝部と組織部研修部の各担当が協議し、夏休み期間中に大規模に全国から子供奉仕団を募集した結果、十四教区より六百五十名の参加をみたわけです。長期にわたり多数の参加者の受入れ、何もかもが初めての試みであるため、種々の問題点を残しながらも、それなりの成果を挙げました。(組織部)

である。

東光寺は新潟市から海岸沿いに北上して、車で約五十分、日本海に続く砂丘地に開けた紫宸寺町にあつて、松林に囲まれた静かな環境である。伽藍はかならずしも大きいとはいえないが、この種の催しに使うには大変恵れていると思う。この東光寺に集るのは近在の中学生で、五十名の募集に対し、初年度は三十四名、二年目の今年は四十三名で、そのうち十

名は二年連続の参加であった。

第四宗務所の場合、禅の集いの日程は七月末から八月にかけてほぼ二泊三日というパターンで、時間割もだいたい似かよっているようである。しかし、東光寺の場合、他会場と異なる試みとして、時間割に写経の時間を組んでみたのである。結論からいいうと、この試みはまず成功であったといえる。禅の集いであるから、中心となるのはやはり坐禅を通した研修であるが、写経の試みは子供達にとっても最も印象に残るものの一つである。また家庭からの反響がなかなか好評なのである。

写経といっても、中学生であるから短いものであろうということから、普段用いるお経のうち、最も短く、それでいて釈尊と直結する「舍利礼文」を書写するのである。一般に写経には「般若心経」が用いられるがそれよりは十分短い。それでも子供達には三〜四十分位の時間が必要で、書き終えて一通りの読み方を習い、本尊前に御供えするまでにはたつぷり一時間かかってしまう。しかし坐禅の時以外はなかなかおしゃべりのやめられない子供達も、この写経の時だけは意外に静かで行儀よく取組み、我々を感心させてくれた。食事の時も講話の時も、学習時間も、この写経の時程には行儀よく正坐していられたからである。そして出来ばえも、めったに毛筆など使うことのない子供達であるが、手本に半紙を重ねて、文字通り写しとるという方法では結構うまくできるものであ

# おてつきこども奉仕団

## 浄土宗

。書写したものは三宝印を押して、閉会式に終了証として本人に返し、帰宅してから仏壇に供えて手を合わせ、先祖、家族に無事終了の報告をするように指導しているのである。

日常の生活ではほとんど正座するといふことのない子供達にとって、こうした禅の集いの催しがどのような意味をもつてであろうか。一刻もじっとしていることのできない子供達にとって、この催しで

総本山知恩院では昭和四十二年七月に浄土宗青少年教化対策の一環として、全国関係寺院の青少年団体結成を促進するオルグを育成すると共に、「おてつき運動」の積極的浸透を企てるために夏休みを利用して、こどもによる奉仕団を組織してから、本年で第十一回を数えます。

この間、昭和四十三年七月には総本山延暦寺で一山のご好意あるご協力により宗祖法然上人の遺跡である西塔青竜寺の整備

最も苦しいのが坐禅と正座の足のいたさのようである。しかし、じっと静かに坐る子供の様子は、お地蔵様のように、実に美しい姿であり、指導する立場の我々に逆に教えてくれるものがある。わずかに二泊三日の間ではあるが、この間の体験は子供達にとって、将来かならず役に立つものと信じざるを得ないのである。

(新潟県養泉寺・佐藤孝一)

をさせていただき、宗門子弟の修練道場として使用させて頂くこととなり、日程も知恩院一泊、青竜寺青少年修練道場一泊の二泊三日という充実した奉仕団活動を展開することができるようになりました。

本年も前期七月二十四日〜八月六日まで、後期八月十八日〜二十四日までの二期に分ち、約二千名のこどもが全国より参加し、①いつも手を合わせ、仲よくいたしましょう。②人々のおかけを喜びましょう。③法然さまのおしえを守りましょう。の「ちかい」を胸に、こどもたちの奉仕団活動は、仏教・大正・華頂・家政・東海などの大学、短大の学生諸君の熱心な指導により、小さな心に法の灯しびを点するわけです。

この奉仕団活動の中で、知恩院での夜の「おとしびの集い」により一層の感激を与えらるとともに、青竜寺の「夜のつどいと座談会」がクライマックスということが出来ます。参加したこどもの感想を紹介しましょう。

「私ははじめてのおてつき運動に参加しました。友達ができるかと少し心配でしたが、みんなが親切でホッと安心しました。知恩院大殿でのおつとめは、ものすごく印象的でした。あのような大きな建物を何百年もの昔、人々はどのようなにして造ったのでしょうか。三門の絵もみごとなものでした。昔の人々がこの法然さまを信じて心をこめてつくった一つ一つのものを、私たちは今見ることが、聞くことができ本当に幸福だと思います。また比叡山での道は急でつかれましたが、この道をその昔、法然さまが歩いた大切な道だと思ふと、いっぺんに力がわ

# 青少年比叡山登詣

## 天台宗

いてきて一つの希望の光が私をひっぱってくれたようです。私達はこの二日間指導員の方々、合宿長さんのお話しで大切なものが身につきました。いつどこでも南無阿彌陀仏という念仏をとなえたならば法然さまは私を見つめて下さる。この言葉は私達にとって最も必要なことばでした。この気持を忘れることなく、永遠に持ちつづけるつもりです。」

このように、こどもたちの心に法然上人のおしえがひろがり、お念仏のふるさとで、こどもたちみんな仲よく手をつなぐ奉仕団活動でした。(おてつき運動本部)

時あたかも宗祖伝教大師で出家得度千二百年記念大法会二年目の今年八月三・四・五日の三日間、第十二回天台宗青少年比叡山研修会が延暦寺会館で開かれた今回の参加者は全国二十余教区の檀信徒子弟の中学生男女二百四十名であった。

この企画は、宗祖の目指された国宝的人材養成の一環になり、青少年の教化育成という国家的要請にあてはまり、「能く行ない能く言う人」に近づけるよう中学生に体験してもらい、さらにリーダーの青少年男女の研修になるよう計画されている。

今年のメインテーマは「規律と合掌」で、修行研修部門とレクリエーション部

門がよく融合されており、また班単位の集会に多くの時間を費して、現代っ子の中学生に修行の厳しさ、あらゆる人や物への感謝、友人の大切さを強く経験してもらった。

日程は、第一日の結団式の際、全国から集合した生徒全員に天台座主観下より三聚浄戒と五戒の授戒があり、夜は交歓会としてパネルシアターとおみやげ交換歌唱等を楽しみ、旅のつかれをいやす。

第二日目は、五時半起床、動行、座禅止観、朝礼、体操、作務と続き、朝食と如法作法により摂る。次に三塔の諸堂迎拜法話、如法写経などの研修があり、休憩時間には山の自然に親しみながらフォー

クダンスや歌唱、班集会など苦と榮をみ  
つちり味わう。夜はお待ちかねのキャン  
プファイヤーでゲーム、歌、スタンツを  
出し合い二時間遊ぶ。第三日の最終日は  
朝方は前日と同じで、そのあと終了式。  
各班が三日間の成果と感想を発表しあい  
全国の仲良くなった友達やリーダー達と  
別れをつける。この時流す涙は一生忘れ  
まい。そして帰途につく。

# 難民救済にご協力を

## 日本宗教連盟よりお願い

財団法人日本宗教連盟（理事長品田聖  
平）構成団体・教派神道連合会・全日本  
仏教会・日本キリスト教連合会・神社本  
庁・新日本宗教団体連合会）では、七月  
二十二日開催の理事会において、国際連  
合難民高等弁務官駐日名誉代表島津忠承  
氏より国際的問題となっているインドシ  
ナ漂流難民の実情について説明があり、  
宗教界に協力を要請してまいりました。  
それによるとわが国の難民一時受入れ  
は一九七五年六月より一九七七年八月ま  
での総滞在者数は六百九人にのぼり、こ  
れらの難民その他の人々がなご相当期間  
わたって一時滞在を余儀なくされ、現在  
仮住居であるカリタス・ジャパン（四百  
四十三名）、日本赤十字（二十一名）、天理  
教（五十四名）、立正佼成会（九十一名）  
に分散、永住先のアメリカ、ノルウェ

この催しは天台宗務庁、各教区、延暦  
寺、天台仏青連盟の四者が一体となり、  
協力しあつて実施され、第一回から今回  
まで約四千名近くの中学生が登山してい  
る。また仏青男女の活躍は目覚ましいもの  
があり、今回もリーダーとして全国から  
八十名近くの若者が参加し、全力を尽し  
奉仕しているのは特筆されることであ  
る。

1、スイス、フランス、オランダ、パラ  
グアイ、カナダ、イギリス、オーストラ  
リア各国への出国を待っている現状であ  
ります。  
しかし現在を通じ今後の難民の施設・  
経済的援助は民間団体にまかされ困難を  
きわめている次第であります。従つてこ  
の漂流難民救済に本連盟は宗教者として  
最善の努力を払い協力することを申し合  
わせたのであります。

なにとぞこれらの意をおくみとりいた  
だき各教宗派・教団・各連合会の先生方  
のご厚情におすがりし、これらの実情を  
ご理解いただいて難民の仮住居の施設提  
供ご配慮を賜わらんことを衷心よりお願  
い申し上げます。  
なお、出来ましたら資金ご援助・御厚  
志を直接国際連合難民高等弁務官事務所

へお寄せ下さいますよう重ねてよろしく  
お力添えの程お願いいたします。

【連絡先】東京都千代田区大手町二の二  
の一・新大手町ビル四五〇号室／国際連  
合難民高等弁務官事務所 電〇三（二一  
一）一〇二六九

### 加盟団体人事

#### △新義真言宗

新義真言宗では、関尚道管長の任期満  
了に伴ない、新らしく加藤太信師を管長  
に推戴した。またこれに先立って病氣辞  
任した鈴木祐朋宗務総長の後任選挙によ  
り下平耕道師を選出した。

#### △真言宗御室派

真言宗御室派では森諦圓管長の任期満  
了に伴ない、後任管長・総本山仁和寺門  
跡に小田慈舟師を推戴した。

#### △真宗興正派

真宗興正派では、高橋香苗宗務総長の  
任期満了に伴ない、越智宣祐師が新宗務  
総長に就任した。内局の参務には田中照  
海（教学）、直井宏之（会計）、近藤順  
良（庶務）の各師が就任。

#### △東京都仏

東京都仏教連合会では、臨時総会を増  
上寺において開催、会則の一部を改正し  
て、会長に池上本門寺の金子日威貫首を  
選出した。また理事長のポストを新設し  
桜井大乗師を選んだ。明年の世界仏教徒  
会議日本大会の開催地として、また東京  
都仏結成五十周年をひかえての新体制に  
大きな期待がかけられている。

### 経本製本専門

一英堂製本所  
島田育英

小口寸法一寸五厘より、天金物  
その他御注文により製本お請致  
します。

東京都板橋区赤塚4-29-17  
〒175 でんわ03(938)3806

### 寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 浜田商店

東京都台東区寿2-10-9（地下鉄田原町駅前）

電話 代表 (841) 4965

昭和52年9月1日

青森県仏教

青森県仏教会では役員改選が行なわれ赤平昌道会長が退任し、新らしく大山仙遊師が会長に就任した。また事務局長には石岡智道師が選出された。

善光寺

善光寺では、大勸進の都筑玄妙住職退任に伴ない、このほど同大勸進第九十八代の住職に三浦義薫師を選出した。

関西事務局

妙心寺派、本願寺派の人事異動に伴ない関西事務局の国際、文化の部長が交代となりました。

国際部長 千坂精道 就任 妙心寺派

後藤純一 退任

文化部長 小泉宗和 就任 本願寺派

北島経昭 退任

掲示板

大阪府仏教徒会議

大阪府仏教会(西口公教会長)では、

本門法華宗の沿革

全国寺院名鑑補正

本門法華宗よりの依頼により、全国寺院名鑑の掲載文中、宗派概観14(6)本門法華宗の項、③由緒沿革の内容について次のように補正いたします。

沿革

宗祖は日蓮上人、派祖は日隆上人(一

「第十五回大阪府仏教徒会議」を大阪南御堂において「地域社会に奉仕しよう」のテーマで開催する。

青森県仏事務局変更

青森県仏教会の新事務局は次の通り。

青森市橋本三丁目・東伝寺内

千葉県仏事務局変更

千葉県仏教会の新事務局は次の通り。

千葉県茂原市下太田一五六五・萬光寺内

北海道仏で黒い法要追放

北海道仏教会連盟では、暴力団の資金集めなどを目的とする、いわゆる「黒い法要」の追放を決議した。

全国仏教青年「横浜会議」

全国仏教青年「横浜会議」が神奈川県仏教青年同友会主催、全日本仏教青年会の後援で、七月二十九日午後一時より、横浜・華正楼で開かれ、「今、全日仏教は何をなすべきか」などについて熱心に討議した。

天恩師歓迎会

日本仏教讃仰会主催による、天恩師歓迎(四六四年寂)。日蓮上人門下では勝劣系に属し、その中でも法華経本門八品を正意とする教団である。

明治七年日蓮宗から勝劣派が分立し、更に同九年勝劣派から八品派が独立し、同三十一年本門法華宗と改称した。

昭和十六年勝劣系の三派が合同して法華宗と称したが、昭和二十七年宗教法人の施行により、日本門法華宗に復元し、その本門法華宗と宗名とする教団である。

迎会は七月二十六日午後四時半より、本郷の学士会館で開かれた。全日仏より安藤次長出席。

中国(台湾)仏教会来日

釈星雲法師を団長とする一行が、日中仏教交流促進の目的で九月四日来日。

WFB事務局録事

(七月)

四日 仏教英語研修会

七日 WFB日本大会業社説明会

九日 局内会議

仏英研夏期セミ打ち合せ

仏教英語夏期セミナー

(於・身延山)

二十日 局内会議

二十六日 局内会議

二十九日 総務委員会

(八月)

四日 局内会議

三十一日 局内会議

日本大会副委員長会議

事務局録事

(七月)

四日 東仏常務理事会出席

九日 局内会議

十日 都民お盆まつり出席

二十一日 局内会議

二十六日 釈天恩師の会出席

二十七日 石川元局長本葬参列

(八月)

四日 局内会議

二十五日 日本仏教文化会議

三十一日 局内会議

残暑御見舞

真言宗智山派宗務庁

総本山智積院法務所

管主 芙蓉良順

宗務総長 別所弘因

寺務長 別所弘因

総務部長 小沢照禧

教学部長 高野一能

教化部長 岡本実良

法務部長 斎隆套

財務部長 大津頼有

出張所長 渡辺直行

別院執事 渡辺直行

〒665 〇七五(五四)一五三六一

京都市東山区七条東瓦町九六四